

**授業概要**

はじめて心理学を専門的に学ぶ学生の入門として、心理学概論 I では、心理学の歴史・神経生理・知覚・認知・学習・発達・社会といった、心理学の基本的な領域について、広く概説を講義する。対人支援の専門家を指す為に、科学としての心理学的な観点から、心理学の基礎的な知識の習得を目指す。

**授業計画**

第 1 回	オリエンテーション, 心理学の歴史と心理学の研究法
第 2 回	感覚・知覚・認知① 視覚
第 3 回	感覚・知覚・認知② 聴覚・嗅覚・その他
第 4 回	神経生理① 脳と神経
第 5 回	神経生理② 脳の働き
第 6 回	学習
第 7 回	欲求と動機づけ
第 8 回	記憶① ワーキングメモリ
第 9 回	記憶② 長期記憶
第 10 回	高次脳機能障害
第 11 回	発達① 生涯発達
第 12 回	発達② 情動の発達
第 13 回	発達③ 認知の発達
第 14 回	対人関係 1—非言語的コミュニケーション, 対人距離
第 15 回	対人関係 2—対人交流, 社会と文化
第 16 回	試験の実施

**到達目標**

人間行動について、科学としての心理学の視点から基礎知識の習得を目指す。  
さまざまな領域の心理学を学び、他者や自己理解の方法について知ることが目的である。

**履修上の注意**

スマートフォンや携帯電話、タブレット端末などはマナーモードにし、鞆の中にしまっておくこと。  
講義の最後に、受講していれば必ずわかる必須問題についての小テストを行う。

**予習・復習**

授業に必要な資料は予め配布しておくので、資料をよく読んで予習をしておくこと。  
講義内で行われた小テストの復習は必ずしておくこと。

**評価方法**

定期試験 50%、受講態度 20%、講義内での小テスト 30%にて総合的に評価する。

**テキスト**

テキストは特に指定しない。必要な資料は必要に応じて前もって配布する。

- ・参考書：対話で学ぶ心理学
- ・著者名：塩見邦男
- ・出版社名：ナカニシヤ出版
- ・出版年 (ISBN) : 978-4-7795-0193-7